

はなみずき

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	6	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根付いた暮らしを提供できるように 町内の散歩や買い物などを積極的に行い、「お客様中心に寄り添ったケア」という目標を職員と作成し日々、目標に邁進したケアを行なっている。	1	ホーム内行事実施時に町内の方へお知らせし参加を募ったりし地域に開けたホーム運営を行ないたい。
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼にて唱和を行い、ホーム会議やエント会議などにおいて実践できているか否か検討したりしている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時やケアプラン説明時においても説明している。又、運営推進会議においても地域のか方々へご説明、行なっていること等を説明している。	1	町内の役員会にて町内会長の方からホームのお話をしていることで役員会にも参加させて頂いて理念の浸透に注力したい。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺の清掃時に挨拶を交わしたり、日常のおつきあいをさせて頂いている。自治会にも加入させて頂いている。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議にも参加して頂いたり自治会にも加入している。又、地域の行事においてもお声をかけて頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会長の方に地域でお困りの方がおられたらホームにお電話ください、というお願いをしている。又、地域の病院から相談などがあつた際はホームへ来て頂きご説明を行なっている。	1	回覧板などに「認知症」等の議題について話し合いの場を設定したりし積極的な地域貢献に努めたいと考えている。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価についてはホーム会議などにおいて勉強会を開催している。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事報告を行なったり感染予防の勉強会を行なったり、ご家族同士での意見交換会を開催したりしサービス向上に活かしている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	お電話にて相談したりし連携を図っている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターからの説明を受けたり研修などに参加し理解と活用に注力している。	1	ホーム会議などにおいて改めて勉強会を開催したいと考えている。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についてはホーム会議などにおいて積極的に勉強会を開催している。職員は言葉かけを観察したりし虐待が見過ごされることがないか努めている。高齢者虐待防止法においても勉強会開催済みである。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	理念を 実践す るた めの 体制	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には必ず、二時間以上の時間を費やしご説明、質疑応答を行なった上で契約・解約を行なっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見設置箱の設置を行なったり、散歩を1対1にて行なう機会を設けたりして遠慮なく意見が言えるように配慮している。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご面会時にお話したり、毎月発行する通信紙に記載したりし確実に報告している。面会に来られる機会が少ない方には写真を多く送ったりしホームでの暮らしが分かりやすいように配慮している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見設置箱の設置を行なったり、外部への苦情連絡先を入居時にご説明したりし外部者へ表せる機会を設けている。又、面会時やケアプラン説明時に密にコミュニケーションを図り要望や不安がないか確認している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議やエント会議において意見交換の場を設けている。全体にて言うのを躊躇う職員には個別に話しを聞く場面を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	自宅への一時外出時にヘルパー同行をお願いしたいとの話があった際などは他事業所へ連絡調整をつけたり、急変時や緊急通院時などは職員の配置を変更したりし柔軟な勤務調整を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動が起こった際は、なじみの職員と組ませたりシダメージ軽減に努めている。又、自己評価表などを使い職員のストレス度などの把握に努めている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6項目・外部評価 4項目	2	
	5 人材の 育成と 支援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	求人応募があった際は面接を行い、人格や経験を考慮し採用している。 経験年数に応じて資格取得案内やキャリアアップ制度を行ったりし働きやすい環境作りを行なっている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ホーム会議などにおいても利用者様の立場に寄り添ったケア実現のため意見交換をしたり、勉強会を開催したりし人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数に応じて研修参加の呼びかけ、資格取得よ呼びかけたりし職員を育てる取り組みを行なっている。 新卒の職員に関してはOJTを取りいれている。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修などの参加を呼びかけ同業者との交流を図れるようサービスの質の向上に取り組んでいる。又、地域のSWなどとも定期的に意見交換の場を持ち質の向上に役立てている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日々の勤務態度の観察を行い、必要に応じては個別に話しを聞く場面を設定したりしストレス軽減に努めている。	1	以前、ストレスチェック表をしたことがあったので又、行なってみたいと思う。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	経験年数や勤務態度に応じて、研修の参加を声かけたり、個別に目標を設定したりし向上心を持って働き続けられるよう努めている。	1	全職員と定期的な個人面談を行ったりし職員によって向上心の持ち方が違うので細部にわたるリスクマネジメントを行いたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前より、センター方式を活用し信頼関係の構築に努めている。 ご家族においても利用者様のお話を密に教えて頂ける機会を作っている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントの充実化を図り、ご家族が不安や要望を伝えやすいように過去の案件の説明をしたりし積極的に信頼関係の構築に努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お話を聞き、他のサービスを紹介したり、リストをお渡ししたり柔軟な対応に努めている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に可能な方はホームでおやつを召し上がりに来て頂いたりご家族へ面会に多く来て頂けるように協力を依頼したりし円滑に馴染めるように配慮している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	0
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「お客様の心に寄り添ったケア」をホーム独自の目標を掲げており、ケアカンファにおいてもケアプランにおいても重点を置いた関係作りを行なっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居時には職員、利用者様、ご家族様と共にホーム作りを行い居心地の良い空間となるようにご協力ください、とお話している。面会時においても密にコミュニケーションを図っている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族関係においてもアセスメントにて細部にわたるまで聞き取りを行い、精神面が不安定なご家族にはお電話にての状況報告を行ったり関係作りに配慮している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスを入居前から利用され馴染みの関係が10年弱できあがっていた方などは関係継続の観点から入居後も利用を継続できるよう支援したりしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家事活動の参加を基本に共同作業の場を多く暮らしの中で設定し利用者同士の関係を支援している。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後もお電話にて状況の聞き取りを行ったり挨拶文などを交わしたりし関係を継続できるよう大切にしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	2	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	把握ひとり	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様に暮らしの中で伝えやすいような質問形式をとったり、過去の生活歴から意向を予測したりご家族にお聞きしたりし配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	施設外の充実化に注力していると共にセンター方式の活用を行い把握に注力している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎月1回は確実に個別記録の見直しを行い、モニタリングを実施している。又、医療機関利用時には受診記録を記入しており総合的に把握できるよう注力している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	主治医・ご家族などと密に意見交換を行い、必要なサービス事業者との情報提供を行ったりしながら介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体状態、精神状態の変化と共に介護計画の見直しを行なっている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を確実にし、業務管理日誌においても特変のある方については記録を行ったりしケアカンファレンスなどに活用し反映している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族・利用者様の要望においては当ホームが行うことができる場面においては全て柔軟な支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	避難訓練の実施やボランティア依頼を行ったりし協力しながら支援している。又、高校生の職場体験なども行っている。	1	公民館への行事参加を積極的に取り入れたりしていきたい。
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメントとの協働			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅療養管理指導を受けたり、本人が要望しているサービスの事業者との連携を図ったりし活用支援を行っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ホームにおいてケアマネジメントの助言が必要とする場合などにおいて密に相談を行い協働している。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な診察を受けれる機会の提供を行い、緊急時には緊急対応を行ったりし必要な時に必要な医療を受けられるよう支援している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医療機関先において、地域に根付いた病院であり認知症高齢者も多く診察されており適切な指導・助言を仰ぐことができている。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	提携医療機関先の看護職員から指導・助言を頂きながら健康管理や日々のケアに活用している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先のソーシャルワーカー、ご家族と早期退院に向けた話し合いを確実にし退院後の医療との関わり方においても提携医療機関医師に相談したりし協働している。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期に入られた段階にての積極的な話し合いを行っている状況である。利用者全員はとれてないが意向確認書を記入頂けている利用者の方もおられる。	1	重度化や終末期に入られた段階での話し合い設定なので、早い段階での話し合いを持ち、方針の共有を行えるよう改善したい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	提携医療機関先の主治医との連携を図り、ご家族様の意向もあり2名の看取りを体験させて頂くことができ、チームでの支援が行えている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前には愛用されていた家具や食器、家族写真などを持ち込みして頂けるよう依頼し、なじみの物を身近に置くことによりダメージ防止を支援している。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	7	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			自己評価30項目・外部評価9項目	6	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳に配慮したケアを行っている。又、ホーム会議においても「お客様に寄り添うケア」について勉強会を行ったりしプライバシー確保に努めている。	0	
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に応じて質問法を変えたりし意思を表現しやすいように配慮している。利用者 に寄り添い支援している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護計画作成において利用者の暮らしに対する意向を記載し介護計画に沿ってケアしている。	1	全てにおいてお一人、お一人様のペース、意向に 応じて支援しているとは断言できない部分もある のでケアカンファ時等において再度、認識を深め 改善を図りたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	なじみの店がある方については、引き続き利用されている。 1・ 5ヶ月に1回は訪問理美容を利用したり外出時には化粧のお手伝いをしたりし支援している。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に食材を購入したり、食前準備や食後の片付けなど積極的に参加して頂けている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品のある方においてお預かりし楽しむことができるよう支援している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄確認表の記載を行い排泄パターンの把握・排泄リズムの獲得に注力し利用者が気持ちよく排泄できるよう支援している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	疾病などの問題がない方には、毎日入浴のお声かけを行い入浴実施している。 又、積極的に入浴剤の使用を行ったりし楽しめるよう支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ウトウトとされてある際など、お声かけし居室にて休んで頂いたりしている。又、空調確認・適温設定を行い支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	2	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人お一人の生活歴、残存機能の把握を行い役割を持って頂いている。又、継続的に毎日の散歩を行ない気分転換の機会を支援している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様個人にて馴染みの財布を持ってきて頂いている。金庫にて現金管理しているが必要時にはすぐに出せるよう対応している	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お一人お一人の希望にそって個別に散歩や買い物に出かけたり日常的に支援している。	1	インフルエンザ 感染予防に重点を置いていたので積極的に行事的外出を行わなかったのが春からは利用者の意向を聞きながら積極的に外出行事を行いたいと思う。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者が行きたい場所において、ご家族同行にて外出されている。	1	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところの把握ができていないので会話において把握に努め改善を図りたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を受け渡ししたり、住所を書いてさしあげたり手芸品を送ったり支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	玄関の施錠は夜勤帯を除いては一切、行っておらず気軽に訪問できるよう配慮している。又、頻繁に面会にお越しになれる方も多くなじみの訪問支援が行えている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切、行っていない。 又、身体拘束防止についてもホーム会議・エトカファにおいて勉強会を度重ねて行っている。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜勤帯を除いては、一切の施錠を行っていない。 (夜勤帯は玄関のみの施錠している)	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士、連携をとりながら所在確認を常に行い安全確認を行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者一人ひとりの状態を把握し物品の設置を行っている。排除するという考え方ではなく職員の働きかけによって排除しなくても良い、という考え方で保管・管理を行なっている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生時には、事故報告書の記載を確実にし再発防止策をたてエトにて回覧し再発防止策の共有・実行に取り組んでいる。又、ヒヤリット報告も活用している。	1	再発防止策の共有・実行を行っているが利用者の身体機能が改善すると、身体機能の過信を行い事故が再発するという場面が見受けられるため改善を図りたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	避難訓練は定期的に行っている。急変時の応急手当や初期対応においては、職員はヘルパー2級以上の有資格者配置のため知識はあるが定期的な訓練の実施は取り組めていない。	1	ホーム会議やエトカフェなどにおいて「窒息」「心停止」等と事故を仮定し訓練を行い改善を図りたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者の設置を行ない定期的に避難訓練を行っている。又、地域の方々にもご協力頂けるように依頼し了承を得ている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	介護計画書作成において自立支援を主としているが故に起こりうるリスクについてのご説明を行い対応策の記載を行い話し合いを行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、定期的にバイタル測定を行い記録に残し体調変化の早期発見に努めている。又、気づいた際は必ず主治医への報告を行い助言を仰いでいる。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに毎回、処方箋を綴じ確認できるようにしている。又、内服薬の変更があった際は受診記録に変更内容を記載し把握しやすいよう努めている。	1	全職員が把握できているとは断言できない部分もあり、カフェインにおいて定期的に内服薬についての確認、副作用の確認などを行い改善を図りたい。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品、繊維質の食品を多く摂取できるよう献立や水分補給時に工夫をしている。又、日常的において継続的に運動の機会を提供し便秘予防を支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯みがき誘導、口腔ケア介助を行い口腔内の清潔保持を支援している。義歯利用の方においては義歯洗浄剤を使用し義歯の清潔保持を支援している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養に偏りがないようにバランスを考慮した献立を作成し水分摂取量の把握・記録を行い支援している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	「感染症マニュアル」を作成しており、周知事項とし感染予防を実行している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	頻繁に食材購入を行うと共に、物の衛生点検表を調理担当者は記入し衛生管理・食材管理を行っている	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム周囲には緑を多く植生し明るく親しみやすい玄関まわりとなるよう工夫している。又、秋には50本以上の秋桜がホームの庭から道路沿いへ、はみ出る程に咲き誇り喜んで頂けている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月、季節が分かりやすいように壁面製作の掲示を行ったり、状況に応じたBGMを流したりし居心地の良く過ごせるよう工夫している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の設置・廊下奥にテーブルを設置し思い思いに過ごせるように居場所作りを工夫している。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族と相談しながら、馴染みのものや家族写真を持って来て頂いたりし、居心地良く過ごせるよう工夫している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気を行い、外気温と内気温の温度の差がないよう温度計を確認しながら空調の設定を行っている。	1	居室の空調に関して面積が狭いため温度設定よりも冷えたり、温かくなり過ぎたりしている時もあるので改善を図りたい。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下を広く作り、必要な場所には至る所に手すりを設置したりエレベーター完備したりし安全な環境作りに配慮している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや浴室などにおいても分かりやすいように表示したりし環境作りに配慮している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園を作ったり季節の花を植えたりし楽しめたり収穫できたり活動できるよう配慮している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。